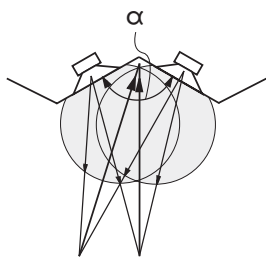


Living Being

KINOSHITA V-4 MONITOR WARP-1, 5, 7

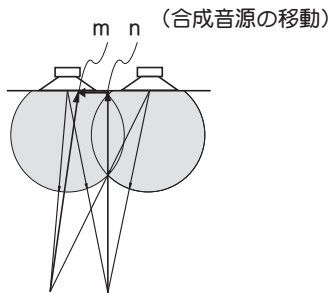


V-4方式は4個のウーファーによる十分な振動面積によって、厚みのある低音再生ができるばかりでなく、取り付け角度の最適化によって水平方向の音像移動をキャンセル。4個のウーファーの合成音源が聴取位置に関わらず、高音ユニットに完全一致。恐ろしくリアルな再生です（下図参照 特許、意匠登録済み）。中高域ユニットには Kinoshita Monitor で定評のある RH-3 + TD4001R をそのままに採用、さらにクロスオーバー周波数は 420Hz という低さ。練達のフェイズチューン技術でホーンシステムのさらなる魅力を引き出しました。キャビネットは WARP 特有の W 形バッフル + メサ形状で対向する面がなく、さらに内部は CARBO-TRAP で吸音し自然でのびのよい音質です。CARBO-TRAP は 100% カーボンファイバー。導電性であることから、スピーカーシステム全体をスリーブ状シールドする TSS 効果も強化できました。Kinoshita Monitor は 2 ウェイとハイレベルクロスオーバー、そして厳密なペアマッチに強いこだわりを持っています。シンプルな構成と完璧な位相整合こそが、ナチュラルな音質と音楽の深い呼吸に欠かせないからです。まるで目の前に出てきてしまうような、そして手を伸ばせば触れるようなリアルさにくわえ、音世界の無限の広がりをも実感することでしょう。WARP-series はその名の通り、聞く者を異次元空間に運んでくれるに違いありません。



V-4 Monitor

聴取位置が変わっても距離と指向性が相補い、音源位置が常に一定している。さらにパーティカル化の組合せて点音源化され、明瞭な立体再現が可能となる。



従来のダブルウーファー
横にスピーカーを並べると
音像位置が定まらず、定位
が不明瞭。



WARP-1

★レイオーディオのパーティカルツイン & V-4 ★

ツイーターを中央に挟んでウーファーを縦にレイアウトしたパーティカルツイン方式はレイオーディオの発明した音像、音場再生技術です。二つのウーファーの合成音源がツイーターに重なることによって点音源化が得られるうえに、床や天井など部屋の影響を受けにくく、広いリスニングエリアで正確な定位を再現します。1984年にハワイのドルフィンスタジオに納品された RM-8V が世界最初の製品ですが、今では（多くのフォロアーが見られるほどの）スピーカーの中心技術に育ちました。しかしレイオーディオは単にスピーカーのレイアウトにとどまることなく、キャビネット内部やボートの上下完全対称を守って、巧妙に定在波を処理したり、パーティカルツインに適したクロスオーバーの位相関係を極めるなど、多くの相互作用を生かしており、形だけではとうてい想像の出来ない完成度を誇ります。さらに今回、開発に成功したのが V-4 Monitor です。水平方向の指向性をクロスさせることで水平方向の音像移動をなくし、パーティカルツインと同等の優れた音像安定性をクワッドウーファーから引き出しました。音世界が広大で、あたかも目の前に出てきてしまう感覚は音楽の楽しみそのものです。オリジナルだけが醸し出す深い味わいを、その真価を WARP-series でお楽しみ下さい。



(有) レイオーディオ

<http://www.reyaudio.com>

250-0631 神奈川県箱根町仙石原 1083-11

TEL: 0460-6-3304 FAX: 0460-6-3305



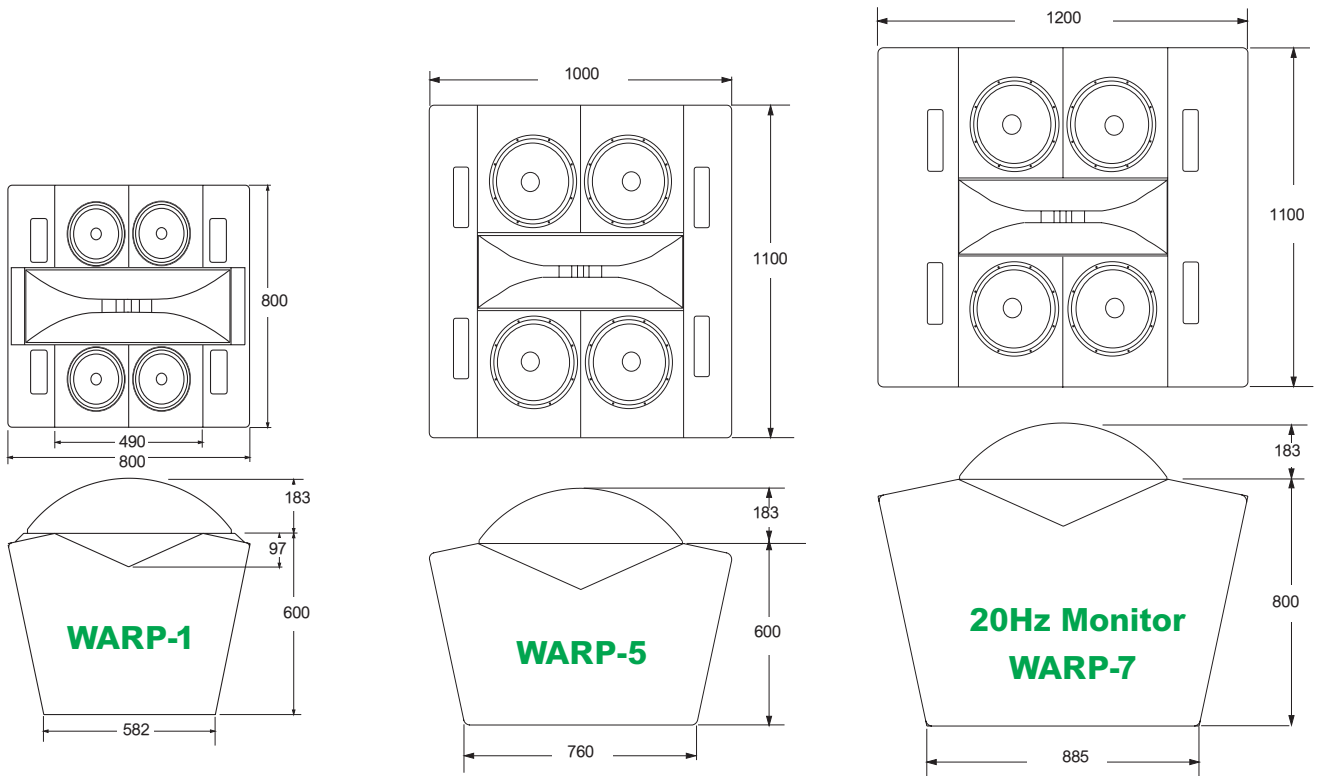
SPECIFICATIONS

	WARP-1	WARP-5	WARP-7
Frequency Range (Hz)	30~20k	26~20k	20~20k
Nominal Impedance (Ω)	6	4	4
Max Input (W)	500	1000	1000
Sensitivity (dB SPL/1m/1W)	96	100	100
Max SPL (dB SPL)	123	130	130
Weight (kg)	110	200	250
Woofer Units	21cm	31cm	31cm
High Level X-Over	WX-1	WX-5	WX-7
X-Over Frequency (Hz)	420	420	420
STAND	WS-1-600	WS-5-500	WS-7-500

SP Cable Set (Monitorlink*1ds,1m x 2, 2.5m x 1) ケーブルの長さは一例です。



WARP-1 + WS-1-600



WARP-7 + HQS4200UPM, KM1V